



# あたらしい本のご案内



子ども、YA(中・高生向け)

<p>たべものなんだ Eバカ</p> <p>あかいやねの おうち。うみのなかの さんごしょう。やまのおくの どうくつ。このたべものなーんだ？ 豊かな感性を伸ばす食べ物の写真絵本。(ベカたろう作 KADOKAWA)</p>	<p>アザラシのアニュー Eアズ</p> <p>アニューは タテゴトアザラシのあかちゃん。あるひ、おかあさんが うみにいってしまい ひとりぼっちに…アラスカで暮らす作者が描く野生動物のおはなし。(あずみ虫作 童心社)</p>
<p>海よ光れ！ 3.11被災者を励ました学校新聞 K369タ</p> <p>大震災直後から避難所となった大沢小学校。地域の被災者と一緒に学校で寝泊まりしていた子どもたちが、自分たちには何ができるのか考え、取り組んだこととは。(由沢五月文 国土社)</p>	<p>みんなそれぞれ心の時間 K141イ</p> <p>楽しい時間は短いと感じたことはありませんか？それは、いつも同じに進む「時計の時間」とはちがう、のびちぢみする「心の時間」を生きるから。(吉野晃希男絵 一川誠文 福音館書店)</p>
<p>アフリカで、バッグの会社ははじめました K289ナ</p> <p>ウガンダで工房を立ち上げ、バッグづくりを通してアフリカ女性を支援する仲本千津さん。彼女のこれまでの迷い多き道をたどる進路決定ドキュメンタリー。(江口絵理著 さ・えら書房)</p>	<p>おもしろすぎる学校のひみつ K376ア</p> <p>『うんていは古代中国のひみつ兵器だった!?』『デンマークには小学0年生がいる!?』思わずだれかにおしえてくなる50話。しらなかった…え？そうだったの？(山口正監修 朝白新聞出版)</p>

## 一般

<p>小説 こまどりたちが歌うなら F㊦</p> <p>親戚が営む小さな製菓会社に転職した茉莉。サービス残業やお茶くみなど、会社の「見えないルール」が見過ごせず、何とか変えようと格闘するのだが…ぶつかって、関わって、働いて、そして、生きていく。(寺地はるな著 集英社)</p>	<p>小説 ぼくらは回収しない F㊦</p> <p>数十年に一度の日食が起きた日、名門大学の学生寮で起きた不可解な事件の真相とは？SNSでの誹謗中傷、カエル化現象、将来への不安や葛藤など、Z世代の作家ならではの視点で描く、5つの謎解き。(真門浩平著 東京創元社)</p>		
<p>小説 不便なコンビニ 929.1キ</p> <p>ソウルの片隅にひっそり息づく不便なコンビニ「ALWAYS」。記憶を失ったホームレスの店員と、そこに集う人々の交流を描いた、笑いと涙の物語。2024年本屋大賞翻訳小説部門第3位。(キム・ホヨン作 米津篤八訳 小学館)</p>	<p>小説 魂の歌が聞こえるか F㊦</p> <p>レコード会社で新人発掘担当の芝原は、送られてきたデモ音源の中から原石を発見する。ところが、ほとんど情報のない彼らから意外な条件を提示され…才能ある新人バンドの売り出しに奮闘する迫真の音楽業界ミステリ。(真保裕一著 講談社)</p>		
<p>書名</p>	<p>著者名</p>	<p>ジャンル</p>	<p>ラベル</p>
<p>10年後のハローワーク これからなくなる仕事、伸びる仕事、なくなっても残る人</p>	<p>川村 秀 憲</p>	<p>情報理論</p>	<p>007.1カ</p>
<p>子どもと大人の福祉制度の歩き方</p>	<p>浜内 彩 乃</p>	<p>福祉</p>	<p>369.2ハ</p>
<p>バイオリン入門 2週間で「エトピリカ」計画</p>	<p>葉加瀬 太郎</p>	<p>音楽</p>	<p>763.4ハ</p>